令和元年度

桃沢野外活動センター—他大規模改修工事

街とヒトの成長を見つめて1世紀

渡辺建設株式会社

drawing by Yusuke KOSHIMA

工事概要

概要

工事名：令和元年度
桃沢野外活動センター他大規模改修工事
工事場所：静岡県駿東郡長泉町元長窪895-108
発注者：長泉町
主要用途：宿泊施設、野外炊事場他
敷地面積：34,833.99m²
工期：令和元年9月5日～令和2年8月31日
設計監理：光嶋祐介建築設計事務所・加和太建設株式会社
施工：渡辺建設株式会社

建物概要

新築

コテージA（バンガローL） 1棟
木造地上2階建て
建築面積：62.27m² 延べ床面積：100.56m²
1F 59.15m² / 2F 41.41m²

コテージB（バンガローS） 3棟
木造地上2階建て
建築面積：29.81m² 延べ床面積：59.62m²

風呂管理棟 1棟
木造平屋建て
建築面積：123.93m² 延べ床面積：114.96m²

物置L 1棟
木造平屋建て
延べ床面積：17.28m²

物置S 1棟
木造平屋建て
延べ床面積：30.92m²

野外炊飯場1 1棟
鉄骨造平屋建て
建築面積：71.64m² 延べ床面積：65.52m²

野外炊飯場2 1棟
鉄骨造平屋建て
建築面積：54.02m² 延べ床面積：54.02m²

野外炊飯場3 1棟
鉄骨造平屋建て
建築面積：69.99m² 延べ床面積：69.99m²

しばふ広場バーベキュー場 1棟
鉄骨造平屋建て
建築面積：431.53m² 延べ床面積：430.71m²

改修

既存活動センター
鉄筋コンクリート造2階建て地下1階
建築面積：1371.11m² 延べ床面積：2423.44m²

外構

- ・排水構造物 管路長430m
- ・張芝 2692.08m²
- ・じゃかごφ450 1箇所
- ・ふとんかご 1箇所
- ・自然石積み 50cm*120cm 4段
- ・浸透柵900角 1基
- ・浸透柵1200角 2基
- ・浸透柵1500角 8基
- ・防火水槽40 t 2基

新建築2020年10月号掲載

工 程 表

令和元年度 桃沢野外活動センター他大規模改修工事

発注者	長泉町長 池田 修 様	主な建物名	バンガロー・S.L 風呂・管理棟 野外炊事施設 物置	工期	自 令和 元 年 9 月 5 日 至 令和 2 年 8 月 31 日	渡 辺 建 設 株 式 有 限 公 司 静岡県裾野市富沢394-1
設計	加和太建設株式会社・光嶋裕介建築設計事務所	構造・階数	木造 鉄骨造 外構工事	担当者印	現場代理人印	
監理	加和太建設株式会社・光嶋裕介建築設計事務所	敷地面積	20,657.29㎡			
工事場所	長泉町元長産395-108	建築面積				
		延床面積

工事背景

本工事は長泉町の北側愛鷹山麓（標高320m～360m）に位置し、古くより周辺学校の自然教室などの拠点として活動していました。しかし、施設の老朽化に伴い既存施設の大規模改修工事と宿泊施設等の新築工事を行い、大自然と一体となるリニューアル工事が計画されました。

工事の内容としましては、6カ月間施設の運用を中止し改修、新築を行いました。工事を進めて行く上で現場内を散策路が横断し、公園も隣接している為、利用者が安全に利用出来るように工事区画を念入りに打合せを行い配慮しながら工事を進めて行かなければなりません。

自然の中での工事の為、川、樹木、転石などの障害がありました。特に転石処分については極力追加金額が発生しない様、傾斜地の地形を最大限利用し高低差のある場所へ土留めを兼ねた石積を大自然と一体になる様に行いました。

石積み状況

施工上の問題点

1.自然の中での工事・・・仮設橋の設置
 工事を行う上で特に問題があった事は、敷地内南北に桃沢川が流れ既存の橋は歩行専用の橋と吊り橋しかなく、車両、重機、資材の搬入が困難になることが予想されました。期間を限定しての工事だった為、現設計を変更し安全作業が確保された作業環境と安定した作業時間＝工期を確立する必要がありました。

2.木造の躯体の検討の必要・・・BIMの活用
 今回の設計は光嶋祐介氏がを行い、表紙にあるドローイングが元となり設計が行われました。その為、木造の躯体がそのまま仕上げになる物だったり、躯体の取合いがXYZ方向に捻じれて取合っていたり、プレカットの加工が非常に難易度として高かった為、BIMを活用し検討、打合せを念入りに行う必要がありました。

3.施工管理の工夫が必要・・・社内4部門で分担
 今回の工事では敷地面積34,833m²、南北に直線距離450mと広大な敷地に点在し複数ある為、施工管理が問題になりました。その為、社内システムの特性を活用し、新築工事（S造+W造）改修工事、外構工事に分け、社内4部門（建築部、土木部、工務部、ハウジング部）で施工上の品質管理を分担し工事を竣工させました。

活動センター準備期間

活動センター工期：6カ月

工芸村準備期間

工芸村工期：3カ月

実線：建築工事実施出来高
点線：建築工事予想出来高

仮設計画

作業効率向上と安全性確保の為の仮設計画

自然の中の工事という事もあり、敷地内の南北に桃沢川が流れ、森林内で工事を進めていきます。仮設計画の中で最も問題になった事が、川を挟んだ山側の敷地に新築される鉄骨造の大屋根（しばふ広場バーベキュー場）と木造の休憩所兼授乳施設です。工事を行う上で既存の橋は歩行者専用で有効幅1.5mしかなく、資材の搬出入と安全に作業を行う為には不便でした。設計時は50tクレーンにて対岸に資材を揚重し、そこからの揚重作業はクレーンを使用し繰り返し工事場所に移動していくのが現設計の計画でした。しかし、しばふ広場バーベキュー場では、既存土間解体224m³。新築では、基礎掘削128m³、基礎コンクリート20m³、鉄骨総重量23.1tの施工を行う必要があり、現設計の仮設計画では工程を組むのが困難でした。原点から仮設計画の考え方を考え、発注者、静岡県（川）と事前協議を繰り返し**仮設橋の設置**に方針を変えました。

当初計画

仮設計画変更

仮設橋脚計画

※B.H0.45による掘削・16レックによる建て方可能
施工性能向上、安全性向上につながる

仮設橋図面

仮設橋を架ける効果

- 仮設橋を架ける事により建物周辺まで重機が接近する事ができ、**安全作業が容易になる**。
- 資材の搬入搬出も10tトラックまで通行が可能になり**作業性能が向上する**。
- 橋を架ける期間を限定する事により、**工程管理、コスト管理**もしやすくなる。
- 搬出入を容易にできる事により、**工期短縮**にもつながることが出来る。

仮設橋施工工程

橋脚基礎設置
橋桁組立

水平ブレス取付

覆工板取付

仮設橋完成

仮設スロープ 施工

組立完了

BIM活用

木造へのBIM活用

バンガローLの検討を行う上で、建物の躯体形状が特殊な為プレカットの施工に困難な箇所がありました。(建物合掌部仕口)その為、プレカットと宮大工による仕口部の加工を行い、現場搬入前に工場内にて仮組立を行いました。プレカットと手加工を併用する為、取合い部の検討を密に行う必要性からBIMを活用し、仕口の形状を明確にして、精度の良い加工を可能にしました。また全体の形状を把握する事により建て方順序を明確化する事にも応用ができました。

BIMによる接合部検討
明確化

全体3D図

詳細図

仕口-1

詳細化

仕口検討

仕口-2

詳細化

仕口検討

斜面に沿って
乗せる

棟木は北側の柱に
15mm入れ込み

仕口-3

詳細化

仕口検討

建て方手順図

① 1F柱、梁組立 (プレカット)

② 2F柱、梁組立 (プレカット)

③ 小屋組み (手加工)

各所図面図

しばふ広場バーベキュー場 (S造)

野外炊飯1・2・3 (S造)

バンガローL (木造)

バンガローS (木造)

風呂管理棟 (木造)

野外活動センター (改修)

©TakeshiYAMAGISHI

バンガローL・S外観

バンガローL 2F

バンガローL 1F

バンガローS 内観

活動センター 外観

活動センター ロビー

しばふ広場バーベキュー場 外観

しばふ広場バーベキュー場 外観

しばふ広場バーベキュー場 屋根

しばふ広場バーベキュー場 内観

しばふ広場休憩所兼授乳施設

テントサイト

バンガロー群

風呂管理棟 外観